

## 目標達成計画

作成日: 平成 27 年 9 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	今井あんきの家の理念に基づき「みんな仲良く助け合いゆっくりニコニコ」を意識して職員全員実践する。	理念を再度確認し、理念の意義を理解し徹底・実践できる様取り組む	3ヶ月
2	7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について研修会を持ち、介護度の重い利用者が増えてきた中、特に言葉の虐待も含めて最大の注意をスタッフ全員で図っていく。	日々の業務の中で鈍化する感覚を是正し、介護業務の意義を再確認する	6ヶ月
3	12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の配置転換も継続し、あんきの家全体で利用者を見られるような体制ができている。平成21年7月に労働組合が結成され、スタッフ自ら労働条件の改善のため学習をしていく。	従業員が穏やかな精神状態で働けるよう、業務改善等を行い、限られた人員で良い介護ができる様取り組む。	6ヶ月
4	13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修委員会を設け個々に研修が受けられるよう計画実施している。ヘルパー資格取得に対しても勤務を考慮し機会を確保できるようにしている。	研修だけに頼らず、日々の業務の中で、理念や方針を確認し共有・実践できる様取り組む。	6ヶ月
5					
6					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。